

## 第2回 横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会 議事録

日 時：平成24年5月14日（月） 13時00分～16時30分

場 所：保土ヶ谷区役所 202会議室

出席者：（委員）加藤肇一委員長、江渕武雄委員、大久保節子委員  
金子陽明委員、三浦大介委員以上5名

（事務局）日詰雄治、中島喜久男、金床祐輔、亀井隆以上4名

欠席者：（委員）なし

傍聴者：5名

### 1 定足数の確認

上記委員5名中、5名全員が出席

横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項の規定を  
充たしており、本委員会は成立した。

### 2 議 事

#### (1) 委員長選出

横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会運営要綱第6条第1項の規定  
に基づき、加藤委員が委員長に選出された。

#### (2) 応募状況について

4団体から応募があったことについて、事務局から説明を行った。

#### (3) 応募資格について

各応募団体が応募資格を満たしていることを確認した。

また、応募団体の財務状況について委員から報告があり、意見交換した。

#### (4) 選定方法について

選定方法について、事務局から説明を行った。

#### (5) 応募団体の面接審査について

13時30分から応募のあった4団体の面接審査を次の順番に行った。

各応募団体からのプレゼンテーションを10分、質疑応答を10分実施した。

<面接審査順番>

- ①テルウェル東日本株式会社
- ②相鉄・横浜FC共同事業体
- ③一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会
- ④株式会社協栄

委員からの主な質問及び応募団体からの回答は以下のとおり。

#### 【テルウェル東日本株式会社】

- ・ 自主事業においてオリンピック選手の招聘とあるが、これまでの実績はあるか。  
⇒管理運営を受注している千葉市の体育館において、バレーボールの大山加奈選  
手、バドミントンの小椋久美子選手を招き、多くの方に楽しんでいただきました。
- ・ これまで地区センターを利用していなかった人の取り込みはどのように考えてい  
るか。

⇒新築であるため、まずはチラシ等で広報していきます。また、水曜日のノー残業デーが多いことから、水曜日の夜にサラリーマン向けの自主事業を開催する等の工夫を考えています。

- ・他施設でアンケート実施とあるが、その結果をどのように反映しているか。

⇒アンケート結果を重視して自主事業の内容等に反映しています。また、アンケート結果を月に1回社内で整理する機会を設けています。

#### 【相鉄・横浜F C共同事業体】

- ・サッカーという競技と、地区センターの運営がどのように関係してくるのか分からない。

⇒これまでサッカーだけではなく、地域交流として商店街や小学校等との交流を地道に進めてきました。この活動のノウハウを活かしたいと考えています。小学校では、食育や選手とのふれあいの時間、講演事業なども行っています。

- ・これまで地区センター運営の実績が無いようだが、相鉄と横浜F Cの役割分担については、どのように考えているか。

⇒地区センターの運営は、相鉄が担い、横浜F Cは主に自主事業での協力体制を組んでいます。

- ・施設の維持管理も重要な要素だが、どのように考えているか。

⇒他施設での経験から、清掃後の滑りやすさには特に気を遣っています。また、海老名市で体育施設の管理ノウハウも有しており、管理状況は良好です。

#### 【一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会】

- ・以前地区センターを利用しようとしたところ、2年連続で施設側のミスにより利用できないという事があった。利用者サービスの考えや、苦情処理等はどのように行っているか。

⇒3年前から第三者苦情委員会を設立しています。いただいた苦情については真摯に受け止め、反省し、今後同じことの無いようにしていきます。また、民意を反映するために、館長を地域の方の中から推薦してもらうという取組みを行っています。

- ・施設の利用に際して、クレームを言えば対応するが、同じような利用をしていてもクレームがなければ何も対応していないことがある。利用の公平性についてどのように考えているか。

⇒一度受けた苦情については、施設を利用される前に、注意事項としてお話をさせていただいています。行届いてなかった部分については、今後改善策を検討します。

#### 【株式会社協栄】

- ・運営委員会の設置は検討しているか。

⇒今は検討していませんが、今運営委員会を設置しているのであれば、それを引継ぎます。

- ・利用時間について、2時間制を提案しているが、延長した場合の利用料金についてはどのように考えているか。

⇒2時間制については、利用者からの要望があれば実施したいと考えています。利用時間を延長した場合も、次の2時間分の利用料金を徴収するのではなく、延長分の利用料金について、工夫したいと考えています。

## (6) 審議結果について

委員による意見交換及び各応募団体を評価した評点表を集計した。

集計結果に基づき、全員一致で評点順に指定候補者と次点候補者を決定することとした。

評価の集計結果は次のとおり。

- |             |                            |
|-------------|----------------------------|
| 1位団体（指定候補者） | ：一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会（496点） |
| 2位団体（次点候補者） | ：テルウェル東日本株式会社（464点）        |
| 3位団体        | ：相鉄・横浜F C共同事業体（446点）       |
| 4位団体        | ：株式会社協栄（412点）              |

## (7) 講評

ア 一般社団法人 保土ヶ谷区区民利用施設協会

協会は提案内容について、地域を良く知った上での内容となっていること、旧西谷地区センターの指定管理者であり、保土ヶ谷区内での実績も高く、支障なく施設運営が行える能力が高く評価された。一方で、抽象的な提案内容が多かったことから、これからの実際の取り組み内容や、利用者の要望に対する対応能力などの点に十分に配慮した運営が期待される。

イ テルウェル東日本株式会社

提案内容については、個人情報保護の体制や、危機管理マニュアルなど組織体制については意識が高く、評価したが、一方で、地域に身近な運営の実施について不安を感じる場所があったことや、運営の効率性、運営の実施効果等に関して低い点数となった。